

セーラー戦士の苦難。



R18 Adult only
DOUJIN

セーラーmoon VS 妖魔&ヒトデモーン

待ちなさい!



女の子を
弄ぼうなんて
許せない!

愛と正義の
セーラー服美少女戦士!

セーラーmoon!

月に替わってお仕置きよ!

セーラーヴィーナス
から離れなさい!

待っていたわ!
セーラーmoon!





もう逃れられないわよ?

セーラームーン

キチッ!

わっ!

バッ
ビョッ

キッ!

ハッ!

ド
キッ!

貴方も虐めてあげる!

ふふふ…
やはり所詮は
女の子ね

か弱いこと…

とつても綺麗よ？
セーラームーン

その無垢な少女の身に
たっぷりと穢れた
エナジーを注ぎ込んで
あげる♡

おあおあか!



思う存分
寝てあげるわ

さ...
セーラームーン?

私の前で
全てをさらけ出しなさい

オオオオ!

オオオ!

オオオ!



貴方にはもう勝ち目はないのよ？

覚悟しなさい
セーラームーン

その清らかな子宮を
妖魔エナジーに
晒されながら
花を散らせなさい！

セーラームーン！

ふふふ…
無防備で
綺麗な子宮…

妖魔エナジー
注入…

あ！！





愛らしかったわよ
セーラームーン

ふふふ...

さあ...
仲間の元へ
連れて行ってあげる

そっちでもっと
愉しみましょう？

セーラーマーズ VS 触手沼

皆が連れ去らわれたのは
この先……

みんな……
必ず助けて
あげるから！

にしてもこの
触手たちの
この匂い……

うひゃろーい
妖魔に捕らわれた
仲間たちを探して
敵のアジトに潜入した
セーラーマーズ

うひゃろーい
粘液でヌメった柔肉で
埋め尽くされたエリアへと
足を踏み入れていた

うひゃろーい
さっきから
触るか触らないかで……

しかし状況は一変する！

一本の触手がセーラーマーズのレオタード越しの局部に粘液を擦り付けた

粘液はセーラーズスーツに染み込みその醜悪な匂いをセーラーマーズにマーキングする

なんなの…この匂い…生臭い！

それが合図だったかのように

無数の触手たちがうねり始めた

うんどういわち…

気持ち悪いわね…！

一体何がしたいの!?

何!!
あかあか

あかあか

んん

!!

んん

んん



無数の触手たちが
マーズの躰に絡みつき
その細い躰を締め上げ
戦闘能力を奪う!



いや……
ドロツとしたの……
流し込まれて……

こいつら……
さっきから……
好き勝手に……!

生臭い……!

なんなの……
これ……

力……でない……

それに……頭
ポクッとして……

ぐわ
ぐわ
ぐわ

はっ!
はっ!
はっ!
はっ!
はっ!

はっ!
はっ!

はっ!
はっ!

はっ!
はっ!

ふあ……!!
はっ!

はっ!
はっ!

はっ!

あ
あ
あ

はっ!
はっ!

はっ!
はっ!

はっ!

はっ!
はっ!
はっ!
はっ!
はっ!



くっ……！
さっきから何なの？！

イボイボが
何度も何度も……！
しつこ……！

くっ……！
いい加減に
しなさいよアンタたち！
フ……ん

ん……
こんなの
何ともないんだから！

こんな攻撃
セーラー戦士には
通用しないわ！

すぐにここから
抜け出して……
皆を探しに
行くんだから！

あ……ダメ……

ちゅ

ぐっ

グッ

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん



次はなんなの...?!

これ以上何かしたら
ただじゃ置かないわよ!

あ...
っは...

いい加減にっ...!

ん?!

ん?!

ん?!

ん?!

ん?!

ん?!

なに……この匂い

今までの匂いとは
比べ物にならないくらい
生臭い……

でも……頭の中……
真っ白になる……

ダメ……!!
これ以上この
匂いを……嗅がされたら!

くっ……
匂いがされてる
最中にも遠慮なく
奥の方小突いて来て……

やだ……コレ……

コレ流し込まれるの
ダメ……

いや……!

皆を探して
助け出すんだから!

こんなことで
負けちゃダメ!

ダメよセーラーマーズ!
こいつらの良いように
されちゃ……!





びびり

びびり

ああああ

びびり

びびり

ダメなの...

ああ

いかされる...

こんなの
ズルい...

びびり

びびり

びびり

びびり

びびり

セーラージュピターVSマインドレディ



待ちな!

そこまでだよ!

マーキュリーを
離しな!

私が相手に
なってやる!

ふふふ...

可愛い
子猫ちゃんね...

何が可愛がるだ!

セーラー戦士を
舐めてかかると
痛い目見るよ!

貴方もたつぷりと可愛がってあげるわ

良い香り…

まだ女に
なり切れていない
少女特有の香り…

このっ…！

この香りも
私好みに
仕立ててあげる

真面目に
戦え！

嫌よ

戦いは
終わりよ？

セーラー
ジュピター

クワン！



ふふふ
かかったわね
セーラージュピター

もう私の催淫水晶から
逃れることは出来ないわ

腕を後ろで組んで
胸を差し出しなさい
セーラージュピター

トッ

あ...れ...?

体...勝手に...

貴方みたいな
勝気な性格の
女の子は大好きよ

お仕置きして
あげる...
✓

ふふふ...

ビッ

さっきまであんなに
生意気だったのに...

ムッ

XXXXXX

ダメだ!
この水晶を
見ていると
体が言うことを
聞かない!

さ...
力を抜いて?
もっと気持ちよくなるから

ふふふ...
苦しい?
苦しむ姿も素敵よ
セーラージュピター

何とかして
この水晶から
目を逸らさないで!

お仕置きの後には
たっぷりとその
綺麗な躰を
穢しつくしてあげるわ

覚悟なさい
セーラージュピター!



さ...
セーラージュピター?

ラブセックスを
愉しみましょう?

水晶に体を
捕らわれている限り
貴方は私の言いなり...

幾ら心が拒絶しても
体がそれを許して
くれない...

貴方は私の
可愛い子猫ちゃん

そうそう...
もつと腰を突き出して?

無防備な

セーラー戦士の

少女まんこを

私が貫きやす、よろこ

くそ...!
こんな...卑怯だぞ!

くそ...!
水晶から
目が離せない!

いいわ
その調子

慌てなくて
いいのよ?

ゆっくりと
ちんぽの形を
感じながら
上下に腰を振って?

イイ子ね

この水晶さえなければ
こんな奴に好きに
させないのに!

ズ!

トントン
トントン
トントン

差し出しなさい

ふふふ...

貴方のオマンコ
ヒクついているわよ...
もうイっちゃうのね?

ふん!
こんな攻撃
何ともないよ!

セーラー戦士を
舐めないで
ほしいな!

腰をもっと
力よく打ち付け
なさい

あらあら...
こんな状況で
威勢のいいこと...

それなら...

セーラージュピター

あ...
おん...
おん...

はいいった

おん!

おん!

おん

おん

おん!

おん!

おん!!

おん!

おん!

おん!

さ、クライマックスよ
セーラージュピター？

もうあなたに
勝ち目はないわ

セーラー戦士は
こんなことで…
諦めない！

お前の
思い通りに…なんか

ふふふ…
強情ね

体の全ての
力を抜きなさい

嘘あ…

今…そんな
命令されたら！

このまま
快楽に溺れなさい

セーラージュピター！



私の男根を
全身全霊で
受け入れなさい♡

ふふふ…
可愛かったわ
セーラージュピター

他のセーラー戦士の
元へ連れて行って
あげるわ



ふふふ…
良い光景だわ
セーラー戦士！

地球の守護者
といえども
快楽攻撃の前では
ただの小娘





こんなこと
いくら続けたって
無駄よ!

何をされたって
私達は
諦めないわ!

パッ

パッ

パッ

パッ



そうよ!

絶対ここから
抜け出して
あなた達全員
折檻してあげるわ!

パッ

パッ



パッ

パッ



セーラー戦士を
甘く見るんじゃ
るんじゃないよ!

私達はお前たちに
屈したりしない!

もっと強く
抱きつきなさい
セーラージュピター

パッ

パッ

パッ



パッ

パッ

パッ







分かりましたか
セーラー戦士達…

貴方達の躰がどれ程
か弱く儂いかを…

さあ夜はまだまだ
長い…

その無垢な体から
清らかなエナジーが
消滅するまで
穢しつくしてあげましょう

覚悟しなさい
セーラー戦士！

おわり

奥付

発行 WMアートワークス株式会社
著者 ワラビモチー
発行日

セーラー戦士の苦難

pixiv ワラビモチー
Twitter @Warabimochi411

DLsite.com・DMMで
複数商品発売中

無断転載・複製・WEBへのアップロード
ネットオークションへの出品は厳禁です
18歳未満の購入・閲覧を禁じます。



いつもあなたの隣にエロ同人

ワラビモチー



もう逃れられないわよ？

セーラームーン

キキキ

キキキ

待っていたわ！
セーラームーン！

貴方も虚めて
あげる！

セーラーヴィーナス
から離れなさい！

待ちなさい！

女の子を
弄ぼうなんて
許せない！

愛と正義の
セーラー服美少女戦士！
セーラームーン！
月に替わってお仕置きよ！





思う存分
鉄であげるわ

貴方には
もう勝ち目は
ないのよ?

覚悟しなさい
セーラームーン

その清らかな子宮を
妖魔エナジーに
晒されながら
花を散らせなさい!

セーラームーン!

さ...
セーラームーン?

私の前で
全てをさらけ出しなさい

ふふふ...
無防備で
綺麗な子宮...

妖魔エナジー
注入...

いっせーの
あ!!

ガッ!!



私の愛を受け入れなさい

セーラームーン!

ダメ! このままじゃ!

負けちゃう!

セーラー戦士は

こんな事で諦めたりしないわ!

この状況から脱することなど不可能よ

貴方の子宮ももう限界

妖魔のエネルギーに晒されて 筆結寸前

諦めて 純白の花を散らせなさい

貴方の癖は既に私を受け入れて いるわ

無駄な抵抗な やめて私の物になりなさい

セーラームーン!

ふふふ...

愛らしかったわよ セーラームーン

さあ... 仲間の元へ 連れて行ってあげる

そっちでもっと 愉しまししょう?

ああ!

ああ!

ウッ

皆が連れ去られたのはこの先……

みんな……必ず助けてあげるから！

にしてもこの触手たちのこの匂い……

しかし状況は一変する！

一本の触手がセーラーマーズのレオタード越しの局部に粘液を塗り付けた

粘液はセーラーマーズに染み込みその醜悪な匂いをセーラーマーズにマーキングする

妖魔に捕らわれた仲間たちを探して敵のアジトに潜入したセーラーマーズ

粘液でヌメった柔肉で埋め尽くされたエリアへと足を踏み入れていた

さつきから触るか触らないかで……

なんなの……この匂い……生臭い！

気持ち悪いわね……！

一体何がしたいの？

それが合図だったかのように

無数の触手たちがうねり始めた





いや...
ドロドロしたの...
流し込まれて...
こいつら...
なつきから...
好き勝手に...

生臭い...

なんなの...
これ...

力...でない...

それ...頭
ボイッとして...

無数の触手たちが
マーズの体に絡みつき
その細い棘を締め上げ
戦闘能力を奪う!



次はなんなの...!!
これ以上何かしたら
ただじゃ置かないわよ!

あ...ダメ...

くっ...!!
さっきから何なの?!

イボイボが
何度も何度も...!!
しっこい...

くっ...!!
いい加減に
しなさいよアンタたち!
ア...ん

こんなの
何ともないんだから!
こんな攻撃
セーラー戦士には
通用しないわ!

くっ...!!
いい加減に
しなさいよアンタたち!
ア...ん

くっ...!!
いい加減に
しなさいよアンタたち!
ア...ん

くっ...!!
いい加減に
しなさいよアンタたち!
ア...ん

いい加減にっ...!!

くっ...!!
いい加減にっ...!!

すぐここから
抜け出して...
皆を探して...
行くんだから!



なに...この匂い
今までの匂いとは
比べ物にならないくらい
生臭い...
でも...頭の中...
真っ白になる...
ダメ...!
これ以上の
匂いを...嗅がされたら!

くっ...
匂いがかされる
最中にも遠慮なく
奥の方小突いて来て...

皆を探して
助け出すんだから!
こんなことで
負けちゃダメ!

ダメよせ! ラーマーズ!
こいつらの良いように
されちゃ...!

やだ...コレ...
コレ流し込まれるの
ダメ...!

いや...!

いかされる...
こんなの
ズルい...

おめおめおめおめ
おめおめおめおめ



待ちな!

そこまでだよ!

マキキュリーを
離しな!

私が相手に
なつてやる!

ふふふ...

可愛い
子猫ちゃんね...

貴方もたっふりと
可愛がつてあげるわ

良い香り...

まだ女に
なり切れていない
少女特有の香り...

この香りも
私好みに
仕立ててあげる

このっ...

真面目に
戦え!

嫌よ

戦いは
終わりよう?

セーラージュピター

何が可愛がるだ!

セーラー戦士を
舐めてかかると
痛い目見るよ!



ふふふ
かかったわね
セーラージュビター

もう私の催淫水晶から
逃れることは出来ないわ

胸を後ろで組んで
胸を差し出しなさい
セーラージュビター

ふふふ

あ…れ…?

体…勝手に…

貴方みたいな
勝気な性格の
女の子は大好きよ

お仕置きして
あげる…

ふふふ

さっきまであんなに
生意気だったのに…

ふふふ…
苦しい?

苦しむ姿も素敵よ
セーラージュビター

さ…
力を抜いて?
もっと気持ちよくなるから

何とかして
この水晶から
目を逃らさないで!

お仕置きの後には
たっぷりとその
綺麗な体を
穢しつくしてあげるわ

ダメだ!
この水晶を
見ていると
体が言うことを
聞かない!

覚悟なさい
セーラージュビター!



さ...
セーラージュピター！

ラブセックスを
愉しみましょう？

くそ...
こんな...卑怯だぞ！

水品に体を
捕らわれている限り
貴方は私の言いなり...
幾ら心が拒絶しても
体がそれを許して
くれない...
貴方は私の
可愛い子猫ちゃん

そうそう...
もっと腰を突き出して？
無防備な
セーラー戦士の
少女まんこを
私が責めやすいように
差し出しなさい

くそ...
水品から
目が離せない！

この水品さえなければ
こんな奴に好きに
させないのに！

懐てなくて
いいのよ？

ゆっくりと
ちんぼの形を
感じながら
上下に腰を振って？
イイ子ね

いいわ
その調子

ふふふ...
貴方のオマンコ
ヒクついているわよ...
もうイっちゃうのね？

ふん！
こんな攻撃
何ともないよ！
セーラー戦士を
舐めないで
ほしいな！

あらあら...
こんな状況で
威勢のいいこと...
それなら...

腰をもっと
力よく打ち付け
なさい

セーラージュピター

はいイった

んん

だ！

だ！

んん





分かりましたか
セーラー戦士達…

貴方達の躰がどれ程
か弱く儂いかを…

さあ夜はまだまだ
長い…

その無垢な体から
清らかなエナジーが
消滅するまで
穢しつくしてあげましょう

覚悟しなさい
セーラー戦士！

おわり

奥付

発行 WMアートワークス株式会社
著者 ワラビモチー
発行日

セーラー戦士の苦難

pixiv ワラビモチー
Twitter @Warabimochi411

DLsite.com・DMMで
複数商品発売中

無断転載・複製・WEBへのアップロード
ネットオークションへの出品は厳禁です
18歳未満の購入・閲覧を禁じます。



いつもあなたの隣にエロ同人

ワラビモチー